

かんのん劇場ファンのみなさま

毎年秋恒例のかんのん劇場が、この初夏に特別開催することになりました。あのスーパー二胡奏者・許可（シュイ・クウ）さんが10年ぶりにかんのん劇場に出演してくれることとなったのです！これまで4回出演していただきましたが、いずれも本当にすばらしい演奏で私たちを魅了してくれました。今回も二胡と一番相性のよい揚琴（ヤンチン）との共演で、超絶技巧と優れた音楽性を間近に堪能できる、またとない機会をご案内申し上げます。

かんのん劇場支配人 見城宗忠

【プロフィール】

許可（シュイ・クウ）：二胡



中国・南京生まれ。1982年、国立中央音楽学院卒業、翌年、国立中央民族楽団の首席二胡奏者（コンサートマスター）に就任するなど早くから第一線で活躍、クラシックやジャズの奏法も研究し、楽器に独自の改良を加えるなど、二胡の可能性を飛躍的に広げた二胡演奏の第一人者。ジャンルを超えた世界的アーティストとしての地位を確立している。

・2001年、「シルクロード・プロジェクト」のメンバーとしてアジア・ツアーに参加、ヨーヨー・マとの二重奏は台湾国営テレビで放送される。

・2008年 ベルリン・フィルハーモニー主催の室内楽シリーズで、ベルリン・フィル弦楽五重奏団と共演、同五重奏団の日本公演にもソリストとして参加。

・2011年、北京と上海にて、ベルリン・フィル弦楽五重奏団と再度共演。ベルリン・フィル音楽監督のサイモン・ラトル氏にも絶賛される。

2012年より上海ジャズ・フェスティバルの音楽監督に就任、超絶技巧ヴァイオリンの鬼才ロビー・ラカトッシュと共演。

2014年、ベルリン・コンチェルトハウスにて、再びベルリン・フィル弦楽五重奏団をバックに「シルクロード音楽の旅」をテーマに、ドイツで初の二胡リサイタルを行う。12月にはベルリン放送交響楽団と二胡では世界初のレコーディングを行い、同楽団とドイツ放送局から全面的な支援を受けて発売したCD『許可/二胡&ベルリン放送交響楽団～超絶技巧〈ツィゴイネルワイゼン〉』は全ドイツへ向けて放送されている。

2015年9月、「フォーカス・オン・チャイナ」と題したルクセンブルク国際音楽祭40周年際では、再び許可とベルリン・フィル弦楽五重奏団が共演。

2016年2月、東急文化村オーチャードホールにて、テレビ朝日主催「徹子の部屋」クラシック・コンサートにソリストとして東フィルと共演。5月、銀座ヤマハホールにて、ベルリン・フィル弦楽五重奏団との共演。9月には、ベルリン・フィル主催により、8年ぶりにベルリン・フィルホールにて、ランチコンサートを成功させた。

2017年4月、ベルリン・ドイツ交響楽団とのレコーディングでは、許可自身の二胡とオーケストラのためのオリジナル作品をはじめ、中国を代表する現代作曲家、陳怡、楊勇、周龍への委嘱作品を世界初録音、伝統音楽の神髄と現代音楽による、これまでにない新しい中国音楽のサウンドを作り出した。11月、大阪にて再びチェコ・フィルハーモニー八重奏団と共演、新しいアルバム神弓妙韻「風韻」～許可/二胡とベルリン・ドイツ交響楽団～世界初発売記念コンサートを開く。許可の二胡が、ヨーロッパにおいて新しい弦楽器として迎えられることが期待されている。

すでに31枚を超えるCD（クリスタルディスク一枚含む）や2枚のDVDをリリース。国内では東京・名古屋・大阪にて許可二胡塾を開校し、指導者としても多忙を極めている。現在、日本と欧米を中心に活躍しながら、中国国立中央音楽学院客員教授、上海音楽学院客員教授も務め、2014年8月より、中国以外の世界の大学で初めて二胡専攻科を設けた洗足学園音楽大学の客員教授も務めている。

張林（ジャン・リン）：揚琴



河南省洛陽生まれ。5歳より揚琴を学び、北京の中央音楽学院附属中学に入学、1987年、中央音楽学院卒業後、中央歌舞団揚琴首席奏者を経て、89年に来日。東京学芸大学大学院で音楽美学を専攻しつつ、日本での演奏活動も開始。93年ソニーミュージックより『中国の美音／揚琴』をリリースし、『ステレオマガジン』誌の年間最優秀録音特別賞を受賞。リサイタルのほか、中国音楽のみならず広い分野の音楽に対する豊富な知識と経験を生かして、揚琴と様々な楽器や音楽ジャンルとのコラボレーションコンサートを多数開催。張林揚琴教室主宰。CD『弦外之音』『新疆風韻』リリース中。